

ジェンダー研究センター彙報<平成16年度>

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

職名は発令時による

平成16(2004)年度 研究プロジェクト概要

	年 月 日	テ ー マ	報告者、評者等
公開セミナー	平成16年5月20日	公開セミナー「VINGSの挑戦—大学におけるトランスカルチュラルリティとジェンダー研究の試み—」	Michiko Mae (前みち子教授)(お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授、デュッセルドルフ大学東アジア研究所所長・教授) コメンテーター：水田宗子(城西国際大学長/ジェンダー・女性学研究所長) 司会：館かおる/杉橋やよい(本学ジェンダー研究センター)
夜間セミナー	夜間セミナー「ジェンダーの社会構築—フェミニズムの視点による実証心理学—」 Social Constructions of Gender: Empirical Psychology through a Feminist Lens		
	平成16年6月30日	セミナー「心理学の歴史における主題、行為者、エージェントとしての女性」“Women as subjects, actors, and agents in the history of psychology”	ローダ・ケスラー・アンガー (Rhoda Kesler Unger) (米国ブランダイス大学女性学研究センター専任研究員、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：青野篤子(松山東雲女子大学)
	平成16年7月7日	セミナー「ジェンダーを生きる、権力を行使する—社会心理学は女であること、男であることについて何を語っているか?—」“Doing gender, doing power: What social psychology tells us about being female or male”	ローダ・ケスラー・アンガー (Rhoda Kesler Unger) (米国ブランダイス大学女性学研究センター専任研究員、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：坂元章(お茶の水女子大学文教育学部教授)
	平成16年7月14日	セミナー「子宮から墓場までの女性イメージとその心理的示唆」“Images of women from womb to tomb and their psychological implications”	ローダ・ケスラー・アンガー (Rhoda Kesler Unger) (米国ブランダイス大学女性学研究センター専任研究員、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：青木紀久代(お茶の水女子大学大学院人間文化研究科助教授)
	平成16年7月21日	セミナー「性差別とその帰結—心理的問題へのフェミニスト的アプローチ—」“Sexism and its consequences: The feminist approach to psychological disorders”	ローダ・ケスラー・アンガー (Rhoda Kesler Unger) (米国ブランダイス大学女性学研究センター専任研究員、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：信田さよ子(原宿カウンセリングセンター所長)
	夜間セミナー「韓国フェミニズムの理論化に向けて—ナショナリズム、近代、そしてグローバル化との関連を問う—」		
	平成16年11月4日	セミナー「〈女性〉主体の構築—ナショナリズム、近代、そしてフェミニズムの拮抗する諸問題—」	金恩實 (Kim Eun-Shil) (梨花女子大学女性学研究所教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：江原由美子(東京都立大学人文学部教授)
	平成16年11月11日	セミナー「競合するジェンダーとセクシュアリティ—韓国フェミニズムの政治における身体と性的主体としての〈女性〉の発見—」	金恩實 (Kim Eun-Shil) (梨花女子大学女性学研究所教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：河野貴代美(お茶の水女子大学ジェンダー研究センター教授)
	平成16年11月18日	セミナー「グローバル化時代の女性のセクシュアリティ—女性のセクシュアリティの脱領域化、再領域化、そして位階化—」	金恩實 (Kim Eun-Shil) (梨花女子大学女性学研究所教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：瀬地山角(東京大学大学院総合文化研究科助教授)

	年 月 日	テ ー マ	報告者、評者等
夜間セミナー	平成16年11月24日	セミナー「『韓流』、もしくは新しいトランスナショナルな文化空間—台頭する新しい解釈者としての女性とその文化的な力—」	金恩實 (Kim Eun-Shil) (梨花女子大学女性学研究所教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：池田恵理子 (NHK エンタープライズ21)
	平成16年12月2日	セミナー「『アジア』女性学の知／権力の政治—アジアにおけるトランスナショナル・フェミニズムに向けて—」	金恩實 (Kim Eun-Shil) (梨花女子大学女性学研究所教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授) コメンテーター：船橋邦子 (和光大学教授)
国際ワークショップ	国際ワークショップ／国際シンポジウム「アジアのモダンガールと〈世界〉—グローバル資本・植民地的近代・メディア表象」(東アジアにおける植民地的近代とモダンガール研究会、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター共催、ワシントン大学「世界のモダンガール」研究会協力)		
	平成16年9月22日	セッション1 国際現象としての〈モガ〉“Internationalizing MOGA” 司会：バーバラ・佐藤 (成蹊大学) 討論者：ヴェラ・マッキー (カーティン工科大学) 報告 小檜山ルイ (東京女子大学)「模倣と実用性—ミッションによる女子高等教育とモダンガール—」“Not Imitation but Practicality: The Modern Girl and the Missionary Higher Education for Women” 報告 アリス・イヴ・ワインバウム (ワシントン大学)「モダンガールと人種の仮面劇」“The Modern Girl and Racial Masquerade” 報告 ウタ・ボイガー (ワシントン大学)「普遍性の幻想?—ワイマール期、及びナチス・ドイツにおける〈ノイエ・フラウエン〉と他者」“Fantasies of Universality?: Neue Frauen and “Others” in Weimar and Nazi Germany”	
		セッション2 「モガ」、日本のモダンガール “Modern Girl and Japan” 司会：洪郁如 (明星大学) 討論者：プリティ・ラママーシー (ワシントン大学) 報告 牟田和恵 (大阪大学)「新しい女からモダンガールへ—逸脱の系譜—」“The New Woman and the Modern Girl in Japan: The Deviant Sisters” 報告 バーバラ・佐藤 (成蹊大学)「消費社会の外延—モガと女性労働者—」“On the Outskirts of Consumerism: MOGA and Working-Class Women” 報告 館かおる (お茶の水女子大学)「モダンガールとシガレット」“Modern Girl and Cigarettes”	
		セッション3 帝国、同化、植民地近代—沖縄、台湾、朝鮮— “Empire, Assimilation and the (Colonial-) Modern: Okinawa, Taiwan and Korea” 司会：足立真理子 (大阪女子大学) 討論者：タニ・バーロウ (ワシントン大学) 報告 伊藤るり (お茶の水女子大学)「帝国の周辺から見た〈モダンガール〉という問題—沖縄の植民地的近代と女の移動—」“Modern Girl in the Periphery of Empire: Mobility and Colonial Modernity among Okinawan Women in the 1920s and 30s” 報告 洪郁如(明星大学)「植民地台湾におけるファッションと権力」“Fashion and Colonial Power in Taiwan under Japanese Colonial Rule” 報告 金恩實 (梨花女子大学)「朝鮮人女性における (植民地的) 近代の経験」“The Impossibility of the Modern for New Women in Colonial Korea: Na Hyesuk’s Idea of Freedom and Artistic Practice”	
平成16年9月23日	セッション4 モダンガールの近代メディア表象 司会：リン・トーマス (ワシントン大学) 討論者：坂元ひろ子 (一橋大学) 報告 ヴェラ・マッキー (カーティン工科大学)「視覚文化におけるモガの身体—ジェンダー・イメージの産出—」“The Body of the Modern Girl and the Production of Gender” 報告 タニ・バーロウ (ワシントン大学)「1920年~1930年代における宣伝広告と上海モダンガール」“Advertising and the Shanghai Modern Girl in the 1920s and 1930s”		
	セッション5 グローバル市場戦略とジェンダー化された商品 “Global Marketing and Gendered Commodities” 司会：金恩實 (梨花女子大学) 討論者：伊藤るり (お茶の水女子大学) 報告 プリティ・ラママーシー (ワシントン大学)「蕩尽するナショナリズム?—1920年代から30年代におけるインドのモダンガール—」“All-consuming Nationalism?: The Indian Modern Girl in the 1920s and 30s” 報告 リン・トーマス(ワシントン大学)「1930年代南アのモダンガール、化粧品、人種のリスペクタビリティ」“The Modern Girl, Cosmetics, and Racial Respectability in 1930s South Africa” 報告 足立真理子 (大阪女子大学)「奢侈と資本とモダンガール—資生堂企業史研究—」“Luxury, Capital and Modern Girl: A Historical Study of Shiseido Corporation”		

	年 月 日	テ ー マ	報告者、評者等
国際ワークショップ	平成16年9月23日	セッション6 総括討論—モダンガールとアジア— “Concluding Discussion: Modern Girl and Asia”	司会：タニ・バーロウ（ワシントン大学）、館かおる（お茶の水女子大学） 報告者 バーバラ・佐藤（成蹊大学）、牟田和恵（大阪大学）、アリス・ワインバウム（ワシントン大学）、ウタ・ボイガー（ワシントン大学）
若手研究者支援ワークショップ	平成16年9月24日	若手研究者ワークショップ アジアのモダンガールと〈世界〉—変容するモダニティ— “Modern Girl, Asia and Beyond: The Transfiguration of Modernities”	司会：金富子（お茶の水女子大学 COE 研究員） 報告 何璋（お茶の水女子大学大学院博士後期課程）「1920年代中国社会における『新婦女』—『婦女雑誌』を主なテキストとして—」 “The New Woman in Chinese Society in the 1920: Referring to The Ladies’ Journal as the Main Text” 報告 アンジェリーナ・チン（カリフォルニア大学サンタクルズ校博士課程）「〈女〉と演じることとその統制—1920年代、30年代広州における都市の女性性と『風俗』の変容—」 “Performing and Policing Femininity: Transformations of Femininity and Fengsu (Social Customs) in 1920s and 1930s Guangzhou” 報告 ジーナ・エレノア・キム（ワシントン大学博士課程）「植民地台湾・朝鮮におけるモダンガール表象と消費—都市的近代と女性雑誌—」 “The Materializing and Vanishing Modern Girl in Colonial Korea and Taiwan: Colonial Urban Modernity and Women’s Magazines” 報告 磯山久美子（法政大学非常勤講師）「1920年代スペインにおける女性の断髪化現象—cómodoの獲得—」 “The Phenomenon of Women Bobbing Their Hair in Spain in the 1920s: The Acquisition of cómodo (comfort)” 報告 大村香苗（お茶の水女子大学大学院博士後期課程）「1920年代メキシコ先住民の美人コンテストにおけるモダニティ」 “Mexican Women and Modernity: The India Bonita Contest in 1921”
国際シンポジウム	平成16年9月25日	国際シンポジウム「東アジアにおけるモダンガールと〈世界〉」 第1部ワシントン大学「世界のモダンガール」研究会プレゼンテーション	司会：伊藤るり（お茶の水女子大学ジェンダー研究センター） プレゼンター：タニ・バーロウ、ウタ・ボイガー、プリティ・ラママーシー、リン・トーマス、アリス・ワインバウム（全て米国・ワシントン大学） 第2部パネル討論「アジアとモダンガール」（独立行政法人国際交流基金、ワシントン大学（シンブソン人文学センター、大学院、学芸学部）、トランスナショナル学研究所、ジャクソン国際学研究所）助成） 司会：館かおる（お茶の水女子大学ジェンダー研究センター） パネリスト：足立真理子（大阪女子大学）、洪郁如（明星大学）、キム・ウンシル（梨花女子大学校）、小檜山ルイ（東京女子大学）、ヴェラ・マッキー（メルボルン大学）
公開講演会	平成16年9月25日	公開講演会 リン・トーマス（ワシントン大学）「植民地期ケニアにおける女性性器切除反対運動とその教訓—メルー地域における1956年禁止令を中心に—」	

21世紀 COE プロジェクト「ジェンダー研究のフロンティア」概要

企画	年 月 日	形 態	テーマ、報告者、評者等
A1	平成16年4月24日	研究会	「非婚シングルマザーの環境と『自立』の要件」研究会 第1回
A1	平成16年5月25日	研究会	「人身売買データブック調査」研究会 第1回
A1	平成16年5月30日	研究会	「非婚シングルマザーの環境と『自立』の要件」研究会 第2回
A1	平成16年6月24日	公開研究会	公開研究会「ジェンダー政策研究会」第1回 【講師】成垣樹（東京大学大学院）「民主化以降の韓国『女性政策』」
A1	平成16年7月3日	研究会	「人身売買データブック調査」研究会 第2回
A1	平成16年7月8日	研究会	公開研究会「ジェンダー政策研究会」第2回 【講師】相馬直子（東京大学大学院）「韓国における少子化の展開と子育て支援の課題」
A1	平成16年7月11日	研究会	「非婚シングルマザーの環境と『自立』の要件」研究会 第3回 【報告者】東京都婦人相談員／母子自立支援支援員／母子生活支援施設長
A1	平成16年7月25日	研究会	「人身売買データブック調査」研究会 第3回
A1	平成16年7月31日	研究会	「人身売買データブック調査」研究会 第4回 【報告者】ゆのまえ知子（COE 客員研究員）
A1	平成16年8月22日	研究会	「非婚シングルマザーの環境と『自立』の要件」研究会 第4回 【報告者】当事者2名
A1	平成16年9月12～16日	調査	<韓国> 井上清美（COE 研究員）／田宮遊子（COE 研究員）
A1	平成16年9月25日	研究会	「非婚シングルマザーの環境と『自立』の要件」研究会 第5回
A1 共催 WHO	平成16年10月8日	シンポジウム	WHO「DVと女性の健康国際調査」日本調査結果報告とシンポジウム 【報告者】今村清子（横浜市立市民病院がん検診センター所長、女性総合外来担当）、山岡奈津子（医療機関を利用したサバイバー）、行政担当者、日本調査チーム（吉浜美恵子、釜野さおり、ゆのまえ知子、戒能民江）
A1	平成16年10月11日	研究会	「非婚シングルマザーの環境と『自立』の要件」研究会 第6回
A1	平成16年10月29日	研究会	「ジェンダー政策韓国調査報告会」 【報告者】田宮遊子（COE 研究員）／井上清美（COE 研究員）
A1	平成16年11月3日	研究会	「非婚シングルマザーの環境と『自立』の要件」研究会 第7回
A1	平成16年11月27日	調査	「非婚シングルマザーの環境と『自立』の要件」研究会 赤石千衣子氏（しんぐるまざあず・ふぉーらむ）へのインタビュー
A1	平成16年12月13日	調査	「非婚シングルマザーの環境と『自立』の要件」研究会 横田和子氏（環の会）へのインタビュー 戒能民江（お茶の水女子大学／COE 事業推進担当者）／庄司洋子（研究協力者）／湯澤直美（研究協力者）／田中弘子（研究協力者）
A1	平成16年12月27日	調査	「非婚シングルマザーの環境と『自立』の要件」研究会 兼松佐知子氏（「性と生」アドバイザー）へのインタビュー 戒能民江（お茶の水女子大学／COE 事業推進担当者）／田中弘子（研究協力者）
A1	平成16年12月27日	成果刊行	F-GENS Publication Series 3 国・自治体のジェンダー政策
A1	平成17年2月13日	調査	「非婚シングルマザーの環境と『自立』の要件」研究会 慈愛寮当事者へのインタビュー 戒能民江（お茶の水女子大学／COE 事業推進担当者）／田中弘子（研究協力者）／田宮遊子（COE 研究員）
A2	平成16年5月22日	研究会	「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」研究会 第5回 【報告者】熊谷圭知（お茶の水女子大学）／平野恵子（COE 学術振興会特別研

企画	年月日	形態	テーマ、報告者、評者等
A2	平成16年5月22日	研究会	【役員】「インドネシアにおける女性労働者の国内・海外移動に関する調査報告」足立眞理子（大阪女子大学・COE 事業推進担当者）／伊藤るり（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）／小ヶ谷千穂（学術振興会特別研究員・一橋大学）／ブレンダ・テネグラ（お茶の水女子大学博士後期課程）「フィリピンにおけるケア労働者海外派遣の政策と実態に関する調査報告」 【コメンテーター】定松文（広島国際学院大学）／イシカワ・エウニセ（鹿児島国際大学）／村上薫（アジア経済研究所） 【司会】倉光ミナ子（お茶の水女子大学大学院）／篠崎香子（COE 研究員）
A2	平成16年5月30日～6月5日	調査	<東大阪> 在日コリアン調査（徐阿貴）
A2	平成17年7月17日	研究会	「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」研究会 第6回 【報告者】金静寅（同胞法律・生活センター）「相談業務にみる在日コリアン女性の問題」、徐阿貴（COE 研究員）「公共空間とジェンダー—在日コリアン1世女性の夜間中学運動の事例から—」 【討論者】柳蓮淑（お茶の水女子大学大学院博士後期課程） 【司会】橋本みゆき（立教大学大学院博士後期課程）
A2	平成16年9月29日	成果刊行	F-GENS Publication Series 1 Migrant Domestic/Care Workers and the Reconfiguration of Gender in Asia
A2	平成16年11月27日	講演会	ラセル・パレーニャス講演会 「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」研究会 第7回 “Caring for the Filipino family: How gender differentiates the economic causes of labor migration” 【講師】ラセル・パレーニャス（カリフォルニア大学デイヴィス校） 【司会】伊藤るり（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
A2	平成17年2月7日	研究会	「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」研究会 第8回 【報告者】安里和晃氏（日本学術振興会・龍谷大学）「介護労働市場の形成における外国人家事・介護労働者の位置づけ—台湾における施設介護の事例から—」 【コメンテーター】伊藤るり（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者） 【司会】小ヶ谷千穂（日本学術振興会・一橋大学）
A2	平成16年12月16～25日	調査	<香港> 伊藤るり（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）、稲葉奈々子（茨城大学・COE 客員研究員）、小ヶ谷千穂（日本学術振興会・一橋大学）、ブレンダ・テネグラ（お茶の水女子大学博士後期課程）、澤田佳世（日本学術振興会）
A3	平成16年5月22日	研究会	「ローカルセンシティブな開発とジェンダー」研究会 第1回勉強会 【報告者】倉光ミナ子（お茶の水女子大学大学院）／平野恵子（COE 学術振興会特別研究員） 【検討論文】Beneria, L. and Sen, G., 1981, “Accumulation, Reproduction and Women’s Role in Economic Development: Boserup Revisited”, in Visvanatha, S. et al. (eds) (1997) The Women, Gender and Development Reader, Zed Books. 【司会】藤掛洋子（東京家政学院大学大学院）
A3	平成16年6月12日	研究会	「ローカル・センシティブな開発とジェンダー」研究会 第2回勉強会 【検討論文】(1) Tinker, I. “The Making of A Field: Advocates, Practitioners and Scholars”, in Visvanatha, S. et al. (1997) The Women, Gender & Development Reader, Zed Books. (2) Mitchell, B.H. “Family Law in Village Courts: The Woman’s Position”, in Lee, P.W. and Warakai, V. ed. (1985) From Rhetoric to Reality?— Papua New Guinea’s Eight Point Plan and National Goals after a Decade, University of Papua New Guinea Press: Port Moresby
A3	平成16年7月3日	研究会	「ローカル・センシティブな開発とジェンダー」研究会 第1回公開研究会 【報告者】田中由美子（JICA 国際協力総合研修所）「ジェンダー視点に立った日本の開発援助：何が求められているのか？」／古沢希代子（恵泉女学園大学）「日本の灌漑開発援助とジェンダー」 【コメンテーター】村山真弓（アジア経済研究所）／伊藤るり（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）

企画	年月日	形態	テーマ、報告者、評者等
A3	平成16年8月6～30日	調査	〈パラグアイ〉 藤掛洋子（東京家政学院大学）
A3	平成16年10月16日	研究会	「ローカル・センシティブな開発とジェンダー」研究会 第3回勉強会 【報告者】 落合絵美（お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士前期課程） 【検討論文】 Young, K. (1992) 'Gender and Development', in Visvanatha, S. et al. (1997) The Women, Gender and Development Reader, Zed Books, 51-54. 佐野 麻由子（立教大学大学院社会学研究科社会学専攻博士後期課程、日本学術振興会特別研究員）「女性の公的領域への参加と生理規範に関する一考察：Krygier, Jocelyn (1981) 'Caste and Female Pollution' を出発点として」 【司会】 藤掛洋子（東京家政学院大学大学院）
A3	平成16年12月18日	研究会	「ローカルセンシティブな開発とジェンダー」研究会 第4回勉強会 【報告者】 藤掛 洋子（東京家政学院大学） 【検討論文】 Molyneux, M. "Mobilisation without Emancipation? Women's Interests, the State and Revolution in Nicaragua." in Maxine Molyneux, Woman's Movement in International Perspective, Latin America and Beyond. New York: Palgrave, 2001. (藤掛洋子訳 2003、「〈解放なき動員〉を問う—ニカラグアにおける女性の利害関心、国家、そして革命」『ジェンダー研究』第6号、123-143.) 【フィールド報告】 水野桂子（お茶の水女子大学研究生） 【司会】 倉光ミナ子（お茶の水女子大学）
A3 (A2)	平成17年1月29～30日	若手支援	若手支援のためのワークショップ 『ジェンダーの視点から開発の「場所」を考える—開発実践者・研究者のコラボレーションを目指して—』 【コメンテーター】 田中由美子（JICA 国際協力総合研修所）／日下部京子（アジア工科大学）／遠藤真（東京大学大学院）／藤掛洋子（東京家政学院大学）
B	平成16年4月6日	研究会	労働組合調査研究会 第1回 【司会】 篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年4月7日	研究会	労働組合調査研究会 第2回 【司会】 篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年4月15日	研究会	労働組合調査研究会 第3回 【司会】 篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年4月22日	研究会	労働組合調査研究会 第4回 【司会】 篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年4月26日	研究会	労働組合調査研究会 第5回 【司会】 篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年4月28日	研究会	「中国における女性の就業と社会システム—市場・企業・家庭レベルにおける変遷」 【講師】 石塚浩美（産能大学・COE 研究員） 【司会】 篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年5月10日	研究会	労働組合調査研究会 第6回 【司会】 篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年5月26日	研究会	「ジェンダー視点から見た NPO 雇用者の現状・課題」を探るために 【報告者】 山谷真名（COE 教務補佐員） 【司会】 篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年5月28日	研究会	「ジェンダー研究における空間的視点」 【講師】 影山穂波（椙山女学園大学）「都市空間とジェンダー」、宮澤仁（東北大学大学院）「育児期の就業と保育所利用に関する時空間収支のジェンダー分析」
B	平成16年5月31日	研究会	労働組合調査研究会 第7回 【司会】 篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）

企画	年月日	形態	テーマ、報告者、評者等
B	平成16年6月4日	研究会	「日本とイギリスの性別賃金／所得格差の要因分析」 【講師】杉橋やよい（お茶の水女子大学） 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年6月4日	講演会	「中国の女性移動と労働のジェンダー分析」 【講師】陸小媛（中国華南師範大学）
B	平成16年6月10日	研究会	労働組合調査研究会 第8回 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年6月28日	研究会	労働組合調査研究会 第9回 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年7月16日	講演会	「ジェンダー統計」 【講師】杉橋やよい（お茶の水女子大学）「ジェンダー統計の最近の動向」 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年7月22日	講演会	「アメリカにおける男女間賃金格差の動向」 【講師】白井恵美子氏（Wayne State University） 【司会】永瀬伸子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年7月29日	講演会	「Female Labor Market and Supporting Policies in Korea」 【講師】Jiyeun Chang 博士（Korean Labor Institute） 【司会】永瀬伸子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年8月5日	研究会	労働組合調査研究会 第10回 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年8月10日	研究会	労働組合調査研究会 第11回 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年8月19日	研究会	労働組合調査研究会 第12回 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年12月17日	講演会	「中国・大都市の実情」 【講師】韓曉非（弁護士・中国） 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成16年12月17日	講演会	「ライフコースからみた女性の就業移動」 【講師】李賢郁（東京大学大学院修士課程）
B	平成16年12月23日	研究会	労働組合調査研究会 第13回 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B	平成17年1月11日	公開セミナー	「韓国における出生性比：変動と地域差」 【講師】金斗燮（漢陽大学・韓国） 【司会】永瀬伸子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B/ パネル	平成16年4月23日	研究会	「パネル研究会」第1回 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B/ パネル	平成16年5月14～ 15日	出張	〈韓国〉 パネル調査契約 御船美智子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）／李秀眞（COE 研究員）
B/ パネル	平成17年5月28日	研究会	「パネル研究会」第2回 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B/ パネル	平成16年6月4～ 6日	出張	〈中国〉 パネル調査契約 永瀬伸子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）／辺静（お茶の水女子大学大学院博士課程）
B/ パネル	平成16年6月18日	研究会	「パネル研究会」第3回 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B/ パネル	平成16年7月28日	研究会	「パネル研究会」第4回 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）

企画	年月日	形態	テーマ、報告者、評者等
B/ パネル	平成16年8月27日	研究会	「パネル研究会」第5回 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B/ パネル	平成16年9月24日	研究会	「パネル研究会」第6回 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B/ パネル	平成16年10月15～ 17日	出張	〈韓国〉パネル調査 データ受取 御船美智子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）／李秀貞（COE 研究員）
B/ パネル	平成16年10月29日	研究会	「パネル研究会」第7回 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B/ パネル	平成16年12月24日	研究発表	第4回パネル調査カンファレンス 【主催】（財）家計経済研究所 【出席】御船美智子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）／永瀬伸子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）「F-GENS における中国（北京）、韓国（ソウル）のパネル調査の概要」
B/ パネル	平成17年1月26日	国際会議	お茶の水女子大学 COE 東アジアパネル調査に関する国際会議 セッション1「パネルを使った分析1」 【報告者】御船美智子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）／永瀬伸子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）／李秀貞（COE 研究員） 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者） セッション2「パネルを使った分析2」 【報告者】水野勲（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）／辺静（お茶の水女子大学博士後期課程）／竹沢純子（COE 研究員）／長町理恵子（日本経済研究センター） 【司会】篠塚英子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者） セッション3「ソウルの家族、家計、仕事をめぐる動向」 【報告者】李基榮（ソウル大学）「最近における韓国家族の変化と特徴」／趙熙今（大邱大学）「健康家庭基本法と中央健康家庭支援センター」 【司会】御船美智子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者） セッション4「北京の家族、家計、仕事をめぐる動向」 【報告者】趙彦云（人民大学応用統計センター）「北京市住民の仕事、家庭、消費および社会保障の変遷」／王琪延（中国人民大学）「北京と東京居民生活時間のジェンダー平等の比較」 【司会】水野勲（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者） セッション5「会議全体のコメントと総括」 【報告者】鄭躍軍（総合地球環境学研究所）「国際比較パネル調査実施の課題と問題点」／溝口由己（新潟大学）「日中比較について、視点と課題」／小島宏（国立社会保障人口問題研究所）「日韓比較について、視点と課題」 【司会】永瀬伸子（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
B/ パネル	平成17年1月24日	成果刊行	F-GENS Publication Series 4 家族・仕事・家計に関する国際比較 中国パネル調査 予備調査報告書
B/ パネル	平成17年3月30日	成果刊行	F-GENS Publication Series 5 家族・仕事・家計に関する国際比較 韓国パネル調査
C1	平成16年4月26日	研究会	「シービング研究会」第1回 【報告者】小川眞里子（三重大学・COE 客員研究員）「18世紀西インド諸島の妊娠中絶用植物をめぐるジェンダーの政治学」 【司会】館かおる（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
C1、C2	平成16年5月31日	研究会	「シービング研究会」第2回・「科学技術政策とジェンダー」研究会 第1回 共催 【報告者】鴨川明子（早稲田大学）「マレーシアの情報通信技術政策と教育—ジェンダーとエスニシティの観点から—」 【司会】館かおる（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
C1	平成16年6月28日	研究会	「シービング研究会」第3回 【報告】原葉子（お茶の水女子大学大学院博士後期課程）「19世紀ドイツの医学言説に見る〈老人女性〉と〈閉経〉」 【司会】館かおる（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
C1	平成16年7月26日	研究会	「シービング研究会」第4回 【報告者】伊藤憲二（東京大学先端科学技術研究センター）「シービングの

企画	年月日	形態	テーマ、報告者、評者等
C1	平成16年7月26日	研究会	『ジェンダーは科学を変える!?!』は如何に物理学史研究を変え得るか?—湯浅年子研究を例にして』 【司会】 館かおる (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)
C1	平成16年9月27日	研究会	「シービング研究会」第5回【報告者】水島希 (エイズ予防財団/東京大学大学院)「エイズと女性—女性セックスワーカー意識調査から」 【司会】 館かおる (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)
C1	平成16年11月29日	研究会	「シービング研究会」第6回 【検討論文】 Schiebinger, L.. “Exotic Abortifacients: The Gender Politics of Plants in the Eighteenth-Century Atlantic World”, “Has Feminist Changed Science?” 【司会】 館かおる (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)
C1	平成16年12月17日	公開セミナー	ロンダ・シービングー ランチタイムセミナー Has Feminism Changed Science? 【講師】 ロンダ・シービングー (スタンフォード大学歴史学部科学史教授/スタンフォード大学女性・ジェンダー研究所所長)
C1	平成16年12月18日	講演会	ロンダシービングー講演会「エキゾチックな中絶薬: 18世紀大西洋世界の植物をめぐるジェンダーポリティクス」 【講師】 ロンダ・シービングー (スタンフォード大学歴史学部科学史教授・スタンフォード大学女性・ジェンダー研究所所長) 【コメンテーター】 小川真里子 (三重大学・COE 客員研究員)/弓削尚子 (早稲田大学)/荻野美穂 (大阪大学)/原ひろ子 (放送大学・COE 事業推進担当者)/上野直子 (獨協大学)/伊藤憲二 (東京大学先端科学技術研究センター) 【司会】 館かおる (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)
C2	平成17年2月7日	研究会	「科学技術史・科学技術政策とジェンダー」研究会 【報告者】 川島瑠子 (お茶の水女子大学)「理工系分野とジェンダー」 【司会】 館かおる (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)
C3	平成16年5月14日	研究会	「ポストゲノム時代における生物学とジェンダー」第6回研究会 【報告者】 白井泰子 (国立精神・神経センター精神保健研究所)「ヒト胚を使う研究とジェンダー: 生殖医療と遺伝検査の視点から」 【司会】 武藤香織 (信州大学・COE 事業推進担当者)
C3	平成16年7月13日	研究会	「ポストゲノム時代における生物学とジェンダー」第7回研究会 【報告者】 玉井真理子氏 (信州大学)「はじめにオンナありき〜クローン胚と中絶胎児問題を中心に〜」
C3	平成16年9月10日	研究会	「ポストゲノム時代における生物学とジェンダー」第8回研究会 【報告者】 松原洋子 (立命館大学大学院)「ジェネティック・シティズンシップとは何か」 【司会】 武藤香織 (信州大学・COE 事業推進担当者)
C3	平成16年9月13~15日	若手支援	「ポストゲノム時代における生物学とジェンダー」若手研究者のためのワークショップ 【講師】 鈴木良子 (フリーライター)/柄本三代子 (法政大学)
C3	平成16年10月10日	成果刊行	F-GENS Publication Series 2 Rethinking Science and Medicine from the Perspective of Gender in the Post-Human Genome Project Era
C3	平成17年1月13日	研究会	「ポストゲノム時代における生物学とジェンダー」第9回研究会 【報告者】 牧山康志氏 (文部科学省科学技術政策研究所)「生命倫理問題解決における中間的専門機関と社会的ガバナンスの重要性: 「ヒト胚」の取扱いなどを事例に」
C3	平成17年2月9日	研究会	「ポストゲノム時代における生物学とジェンダーに関する研究会」第10回研究会 【報告者】 林真理 (工学院大学)「先端医療をめぐる意思決定問題」
C3	平成17年3月18日	研究会	「ポストゲノム時代における生物学とジェンダーに関する研究会」第11回研究会 【報告者】 武藤香織 (信州大学・COE 事業推進担当者)「生体肝移植ドナー調査報告&来年度のC-3班」

企画	年 月 日	形 態	テーマ、報告者、評者等
C4	平成16年7月30日 ～8月15日	調査	〈マニラ・バンコク〉 原ひろ子(放送大学・COE 事業推進担当者)／中山まき子(同志社女子大学)／ 渡辺美穂(国立女性教育会館)
C4	平成17年3月9日	成果刊行	F-GENS Publication Series 7 調査活動レポート2003・2004年度「開発」と「性と生殖に関する健康・権利」 に関する研究 「アジアにおけるリプロダクティブ・ヘルス／ライツの政策形成過程調査から —活動報告—」
C5	平成16年8月3～ 12日	調査	〈チェンマイ・コンケン〉 道信良子(札幌医科大学・COE 客員研究員)
C5	平成16年11月4～ 22日	調査	〈沖縄調査〉 加賀谷真梨(COE 研究員)
C5	平成16年12月26日 ～平成17年1月8日	調査	〈韓国〉 仲川裕里(COE 客員研究員)
C5	平成17年1月5～ 9日	調査	〈チェンマイ・ランブン〉 道信良子(COE 客員研究員)
C5	平成17年2月6～ 18日	調査	〈沖縄調査〉 加賀谷真梨(COE 研究員)
C5	平成17年3月14日	成果刊行	F-GENS Publication Series 6 日本・韓国・タイにおける学校性教育の調査及び文献研究の予備的調査報告
C6	平成16年4月25日	研究会	「健康・セクシュアリティとジェンダー」 【報告者】藤田智子(お茶の水女子大学大学院博士課程)「青年期の身体像の 認知についての考察」／兵藤智佳(国連人口基金・早稲田大学現代日本研究所) 「リプロダクティブヘルス・ライツに関するバックラッシュとトランスナショ ナルな NGO による対抗戦略」
C6	平成16年5月15日	研究会	「健康・セクシュアリティとジェンダー」 【報告者】田中俊之(武蔵大学)「〈男らしさ〉と生活空間—私的領域に「男性」 の居場所はあるのか—」／根村直美(日本大学・COE 客員研究員)「倫理学に おけるジェンダー・パースペクティブ—ケアの倫理学と性別秩序改編の倫理 学—」
C6	平成16年6月27日	研究会	「健康・セクシュアリティとジェンダー」 〈第1部〉 討論「学問知のエンジェンドリングに向けて」 【論者】朝倉京子(新潟県立看護大学)／根村直美(日本大学・COE 客員研究 員)／齊藤正美(富山大学) 〈第2部〉 討論「『リプロダクティブ・ヘルス／ライツ』概念をめぐる状況」 【論者】澤田佳世(日本学術振興会特別研究員)／兵藤智佳(国連人口基金)
C6	平成16年7月17日	研究会	「健康・セクシュアリティとジェンダー」 討論「『女性』『男性』の健康・身体」 【論者】田口垂紗(成城大学大学院博士課程)／藤田智子(お茶の水女子大学 大学院博士課程)／田中俊之(武蔵大学)
C6	平成16年9月11日	研究会	「健康・セクシュアリティとジェンダー」 【討論提題者】根村直美(日本大学・COE 客員研究員)
C6	平成17年2月26日	研究会	「健康・セクシュアリティとジェンダー」 【報告者】菅野摂子(立教大学大学院博士課程)「『妊娠する身体』の自律性と 拡張性」／佐藤(佐久間)りか(お茶の水女子大学ジェンダー研究センター研 究協力員)「視覚障害とセクシュアリティ—盲学校における性教育の実態から
D 英	平成16年4月25日	研究会	「文化表象データベース(英語圏)」研究会 第1回 【講師】小山直子(COE 客員研究員) 【司会】竹村和子(お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)
D 英	平成16年7月17日	研究会	「英語圏ジェンダー理論／表象」研究会 第1回文献討論会 Kate Millett, Sexual Politics 【報告者】千田有希(東京外国語大学)／江田優子(ソニー(株)東アジア人事戦

企画	年月日	形態	テーマ、報告者、評者等
D 英	平成16年7月17日	研究会	略部)／丹羽敦子 (COE 研究員)／片山亜紀 (横浜市立大学)／山口菜穂子 (COE 研究員)／深瀬有希子 (慶応義塾大学) 【司会】高橋裕子 (津田塾大学)
D 英	平成16年10月2日	研究会	「英語圏ジェンダー理論／表象」研究会 第2回文献討論会 Anne McClintock, Imperial Leather: Race, Gender, and Sexuality in the Colonial Contest 【報告者】上野和子 (昭和女子短期大学)／開内文乃 (一橋大学博士課程)／松永典子 (お茶の水女子大学博士課程)／山敏勝 (成蹊大学)／岩瀬由佳 (お茶の水女子大学博士課程)／メアリー・ナイトン (大阪大学)／戸谷陽子 (お茶の水女子大学・学内研究員) 【司会】本橋哲也 (東京都立大学)
D 英、 DB 英	平成16年10月11日	講演会	エステル・フリードマン講演会 “No Turning Back: The History of Feminism and the Future of Women” 【講師】エステル・フリードマン (スタンフォード大学) 【紹介】高橋裕子 (津田塾大学・COE 客員研究員) 【コメンテーター】新田啓子 (一橋大学・COE 客員研究員) 【通訳】高橋裕子／クレア・マリィ (津田塾大学) 【司会】竹村和子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進者)
D 英	平成17年2月19日	講演会	第2回 COE ジェンダー英語圏2004年度大会 「セクシュアリティの地平—いま見る・読む・感じる表象批評の冒険」 第一部：講演会 【講師】小谷真理 (SF&ファンタジー評論家)「テクノゴシック論」 第二部：研究発表会 【報告者】溝口彰子 (国立フィルムセンター／COE 客員研究員)「ホモフォビックなホモはレズビアンを生むか？—ヤオイのファンタジーと『現実』」／山口菜穂子 (COE 研究員)「トランスアトランティック“ヴァンプ”—アメリカ映画黎明期における性の地政学」 【コメンテーター】石井達朗 (慶応義塾大学)／斉藤綾子 (明治学院大学) 【司会】竹村和子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)
D 英	平成17年3月19日	研究会	「英語圏ジェンダー理論／表象」研究会 第3回文献討論会 Judith Butler “Bodies That Matter” 【司会／報告】竹村和子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者) 【報告者】清水晶子 (中央大学)／越智博美 (一橋大学・COE 客員研究員)／松尾江津子 (お茶の水女子大学博士課程)／加藤貴之 (清和大学)／高橋愛 (お茶の水女子大学博士課程)／大池真知子 (広島大学)／吉川純子 (武蔵大学・COE 客員研究員)
D 日	平成16年5月29日	研究会	「日本文学におけるジェンダー表象」研究会 第1回 【報告者】倉田容子 (COE 研究員)「1970年代〈老いゆく身体〉の物語—円地文子『彩霧』—」 【司会】竹内栄美子 (千葉工業大学)
D 日	平成16年7月31日	研究会	「日本文学におけるジェンダー表象」研究会 第2回 【報告者】植木朝子 (十文字学園女子短期大学)「ウタを歌う女・女を歌うウタ—『梁塵秘抄』から—」 【司会】菅聡子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)
D 日	平成16年9月17日	講演会	日本文学領域主催 第二回講演会 「語りを開くために」 【講師】飯田祐子 (神戸女学院大学) 【コメンテーター】松下浩幸 (明治大学) 【司会】菅聡子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)
D 日	平成16年10月2日	研究会	「日本文学におけるジェンダー表象」研究会 第3回 【報告者】中矢由花氏 (お茶の水女子大学大学院博士後期課程)「婦を制するは其夫の雄々しき—あり—『雨月物語』に見る女と男—」
D 日	平成16年12月4日	研究会	「日本文学におけるジェンダー表象」研究会 第4回 【報告者】大塚美保 (聖心女子大学)「〈家〉をめぐるジェンダー表象—宮部みゆき『理由』—」 【司会】鈴木啓子 (宇都宮大学)

企画	年 月 日	形 態	テーマ、報告者、評者等
D 日	平成17年 3 月31日	研究会	「日本文学におけるジェンダー表象」研究会 第5回 「見る男、見返す女—森鷗外「電車の窓」を起点に—」 【報告者】鈴木啓子（宇都宮大学） 【司会】大塚美保（聖心女子大学）
D 視	平成16年11月20日	研究会	笠原美智子講演会「愛、孤独、そして笑い」 【講師】笠原美智子（東京都現代美術館） 【司会】天野知香（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
D 視	平成17年 2 月13～ 21日	調査	〈ニューヨーク・ワシントン〉 天野知香（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）／野中颯子（COE 研究員）
D 視	平成17年 3 月26日	研究会	プロジェクトD 視覚表象 第1回文献検討会 ルドミラ・ジョーダノヴァ『セクシュアル・ヴィジョン』 【報告者】正路佐知子（お茶の水女子大学大学院） 【コメンテーター】鈴木杜幾子（明治学院大学） 【司会】天野知香（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
D 共催 科研費 プロジ ェクト	平成16年11月27日	講演会	ジュデス・ハルバーシュタム講演会 “The Contradictions of Female Masculinity Before and After Abu Gra-hib” 【講師】Judith Halberstam（南カリフォルニア大学） 【コメンテーター】竹村和子（お茶の水女子大学・COE 事業推進者） 【通訳】小玉亮子（横浜市立大学）／長谷川和美（ジェンダー研究センター教務補佐員） 【司会】越智博美（一橋大学・COE 客員研究員）
連携	平成16年 5 月18日	研究会	「アジア認識とジェンダー」第1回 【報告者】山下英愛（立命館大学）「韓国の「性売買関連法」制定をめぐる」 【コメント】橋本みゆき（立教大学大学院博士後期課程）
連携	平成16年 5 月28日	研究会	「アジア認識とジェンダー」第2回 【報告者】吉岡愛子（上智大学）「李香蘭—魅惑の他者と日本人観客—」 【上映】『支那の夜』（伏水修監督作品、1940）
連携	平成16年 6 月15日	研究会	「アジア認識とジェンダー」第3回 【報告者】松本真紀子（アジア女性資料センター）「沖縄の戦争花嫁」 【コメント】秋林こずえ（お茶の水女子大学）
連携	平成16年 7 月20日	研究会	「アジア認識とジェンダー」第4回 「女性の身体とナショナリズム—韓国の『慰安婦モード写真集事件』と中国の『趙薇事件』を事例として—」 【報告者】李麗華（お茶の水女子大学大学院修士課程）／周一川（日本大学・COE 研究員） 【司会】館かおる（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者）
連携	平成16年10月18日	研究会	「アジア認識とジェンダー」第5回 「帝国のフェミニズム～小泉郁子を事例に～」 【講師】加納実紀代（敬和学園大学） 【参考文献】加納実紀代「小泉郁子と『帝国のフェミニズム』」
連携	平成17年 2 月 2 日		「アジア認識とジェンダー」第6回 「石田米子・内田知行編『黄土の村の性暴力』の合評会」 【報告者】小浜正子（日本大学）／金富子（COE 研究員） 【司会】館かおる（お茶の水女子大学／COE 事業推進担当者）
全体	平成16年 9 月30日	成果刊行	F-GENS ジャーナル 2 号〈公募特集号〉
全体	平成16年12月11～ 12日	シンポジウム	第1回F-GENS シンポジウム「グローバル化、暴力、ジェンダー」 基調講演「ジェンダー法学と暴力の再解釈—ジェンダー研究のフロンティアに向けて—」 【講演者】戒能民江（お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者） ポスター・セッション 【報告者】COE 若手研究者など16組 分科会A「いかにして権力はパフォーマンスするのか—暴力の再現前とジェンダー配備—」

企画	年 月 日	形 態	テーマ、報告者、評者等
全体	平成16年12月11～12日	シンポジウム	<p>【報告者】 アン・キュビリエ (国連人道調整局)／嶋田美子 (アーティスト)／ヤン・ヒョナ (ソウル国立大学)／竹村和子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)</p> <p>【コメンテーター】 天野知香 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)／戸谷陽子 (お茶の水女子大学・学内研究員)</p> <p>【司会】 菅聡子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)</p> <p>分科会 B 「パネル調査に見る東アジアのジェンダー格差—韓国・中国調査から—」</p> <p>【報告者】 御船美智子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)／村尾祐美子 (日本学術振興会・東京大学)／石塚浩美 (COE 研究員)／永瀬伸子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)／竹沢純子 (COE 研究員)／イ・スウジン (COE 研究員)</p> <p>【コメンテーター】 波平恵美子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)、熊谷圭知 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)、王琪延 (中国人民大学)</p> <p>【司会】 伊藤るり (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)／水野勲 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)</p> <p>全体セッション「再生産領域における〔複数の〕グローバル化と暴力—アジアにおけるジェンダーの論議をめぐって—」</p> <p>【報告者】 篠塚英子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)／武藤香織 (信州大学・COE 事業推進担当者)／足立真理子 (府立大阪女子大学・COE 事業推進担当者)</p> <p>【コメンテーター】 石塚道子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)／金恩實 (梨花女子大学)／原ひろ子 (放送大学・COE 事業推進担当者)</p> <p>【司会】 館かおる (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)</p>
全体	平成17年3月14～15日	外部評価	<p>アドバイザー委員会</p> <p>【アドバイザー委員】 タニ・バーロウ (ワシントン大学)／廣渡清吾 (東京大学)／江原由美子 (都立大学)</p>
全体	平成17年3月31日	成果刊行	F-GENS ジャーナル 3号
全体 共催 人間 発達 COE	平成16年7月23～24日	若手支援	<p>大学院生のための「フィールドワーク」集中講座</p> <p>【講師】 波平恵美子 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)「文化人類学とフィールドワーク」／酒井朗 (お茶の水女子大学)「教育学とフィールドワーク」／箕浦康子 (お茶の水女子大学)「マイクロ・エスノグラフィー」／杉野勇 (お茶の水女子大学)「社会学とフィールドワーク(量的調査)」／藤崎宏子 (お茶の水女子大学)「社会学とフィールドワーク(質的調査)」／道信良子 (札幌医科大学・COE 客員研究員)「タイ (都市) でのフィールドワークとその手法」／桜井厚 (千葉大学)「ライフヒストリーという方法」／森本泉 (明治学院大学)「ネパールでのフィールドワークとその課題」／渡辺めぐみ (お茶の水女子大学)「日本農村でのフィールドワークとその課題」／藤掛洋子 (東京家政学院大学)「開発実践とフィールドワーク：手法と課題」／熊谷圭知 (お茶の水女子大学・COE 事業推進担当者)「『調査する者』と『調査される者』との間」</p>
全体 共催 人間 発達 COE	平成16年9月13～15日	若手支援	<p>「平成16年度英文論文セミナー」</p> <p>【講師】 石井クンツ昌子 (カリフォルニア大学リバーサイド校)</p>
全体 共催 人間 発達 COE	平成17年2月7～25日	若手支援	「Making Effective English Presentations: 英語プレゼンセミナー」

1. 人事関係

1) 運営委員会名簿 (括弧内は在任期間)

ジェンダー研究 センター長・教授	館 かおる (平成16年4月1日～)
文教育学部教授	宮尾 正樹 (同上)
理学部教授	増永 良文 (同上)
生活科学部教授	戒能 民江 (同上)
人間文化研究科教授	竹村 和子 (同上)
文教育学部教授	米田 俊彦 (同上)
理学部教授	真島 秀行 (同上)
生活科学部教授	杉田 孝夫 (同上)
ジェンダー研究 センター教授	館 かおる (平成8年5月11日～)
ジェンダー研究 センター教授	伊藤 るり (平成12年4月1日～)
ジェンダー研究 センター教授	河野貴代美 (平成14年11月1日～ 平成17年3月31日)
ジェンダー研究 センター専任講師	杉橋やよい (平成16年4月1日～)

非常勤講師

研究員

研究協力員

村上 薫 (アジア経済研究所地域研究センター研究員) (同上)
武藤 香織 (平成16年4月1日～ 平成17年3月31日)
原 ひろ子 (同上)
宮尾 正樹 (文教育学部教授) (平成16年4月1日～ 平成17年3月31日)
増永 良文 (理学部教授) (同上)
戒能 民江 (生活科学部教授) (同上)
竹村 和子 (人間文化研究科教授) (同上)
朝倉 京子 (新潟県立看護大学助教授) (平成16年4月14日～ 平成17年3月31日)
浮ヶ谷幸代 (千葉大学非常勤講師) (同上)

2) スタッフ名簿 (括弧内は在任期間)

センター長(併)	館 かおる (平成12年4月1日～)
専任教授	館 かおる (平成8年5月11日～)
	伊藤 るり (平成12年4月1日～)
	河野貴代美 (平成14年11月1日～ 平成17年3月)
	杉橋やよい (平成16年4月1日～)
外国人客員教授	ミチコ・マエ (デュッセルドルフ大学教授・同大学 東アジア研究所所長) (平成16年4月～ 平成16年6月)
	ローダ・ケスラー・アンガー (ブランダイス大学女性学研究セン ター専任研究員) (平成16年6月～ 平成16年7月)
	金 恩實 (梨花女子大学校女性学部准教授・同 大学アジア女性学センター長) (平成16年8月～ 平成17年3月)
客員教授(国内)	川嶋 瑤子 (スタンフォード大学「女性とジェン ダー研究所」研究員) (平成16年4月1日～ 平成17年3月31日)
	小檜山ルイ (東京女子大学教授) (同上)

遠藤みち恵 (フェミニストセラピー「ななかま」主任カウンセラー) (同上)
大海 篤子 (立教大学非常勤講師) (同上)
小山 直子 (お茶の水女子大学COE客員研究員) (同上)
小柳 茂子 (相模女子大学助教授) (同上)
川喜田好恵 (大阪府立女性総合センターコーディネーター) (同上)
川添 裕子 (放送大学、千葉大学ほか非常勤講師) (同上)
黒川 知美 (芝浦工業大学非常勤講師) (同上)
小林富久子 (早稲田大学教授・同大学ジェンダー研究所長) (同上)
斉藤 正美 (富山大学非常勤講師) (同上)
酒井 順子 (立教大学非常勤講師) (同上)
佐藤(佐久間)りか (川崎市男女平等推進審議会委員) (同上)
仙波由加里 (お茶の水女子大学COE「ジェン ダー研究のフロンティア」研究員) (同上)
田澤 薫 (尚絅学院大学女子短期大学部助教授) (同上)
柘植あづみ (明治学院大学教授) (同上)

	中山まき子 (同志社女子大学教授) (同上)	<国際共同研究> <科学研究費基盤研究A> 〔研究担当〕
	長妻由里子 (高知女子大学専任講師) (同上)	館 かおる (ジェンダー研究センター教授)
	根村 直美 (日本大学助教授) (同上)	伊藤 るり (ジェンダー研究センター教授)
	松田 久子 (元理化学研究所非常勤職員) (同上)	足立真理子 (ジェンダー研究センター研究協力員・大阪女子 大学教授)
	廣重(三木) 壽子 (横浜市立大学木原生物学研究所研究員) (同上)	佐藤バーバラ (成蹊大学教授)
	村田 陽平 (京都大学大学院文学研究科博士課程) (同上)	牟田 和恵 (大阪大学助教授)
	森本 恭代 (実践女子短期大学非常勤講師) (同上)	洪 郁如 (明星大学専任講師)
	山崎美和恵 (埼玉大学名誉教授) (同上)	小檜山ルイ (東京女子大学助教授)
	キャサリン・ベイ (スタンフォード大学大学院博士号取得候補者) (同上)	小山 直子 (本学 COE「ジェンダー研究のフロンティア」客 員研究員)
	マーラ・パティシオ (ケンブリッジ大学博士課程) (同上)	キャサリン・ベイ (ジェンダー研究センター研究協力員)
	マリレーヌ・リーベル (Universite de Versailles-Saint -Quentin-en-Yvelines 博士号取得候補者) (同上)	何 瑋 (本学人間文化研究科博士後期課程)
	ランジャンナ・シール (BJK Institute of Buddhist & Asian Studies, Varanasi 上級研究員) (同上)	タニ・バーロウ (ワシントン大学教授)
	Chiou Shwu-Wen (台湾南華大学副教授) (同上)	ヴェラ・マッキー (カーティン工科大学教授)
研究機関研究員	秋林こずえ (平成16年4月1日～ 平成17年3月31日)	戴 錦華 (ジェンダー研究センター外国人客員教授・北京 大学教授)
	小山 直子 (平成16年4月1日～ 平成17年3月31日)	金 恩實 (キム・ウンシル) (梨花女子大学教授)
研究支援推進員	原田 雅史 (平成16年4月1日～ 平成17年3月31日)	ワシントン大学「Modern Girl Around the World」プロジェ クトメンバー
教務補佐員	造力 由美 (平成16年4月1日～ 平成17年3月31日)	森本 恭代 (ジェンダー研究センター研究協力員・科研費研 究支援者)
	竹内 ゆり (同上)	
	花岡ナホミ (同上)	
	長谷川和美 (同上)	

2. 会議関係

<運営委員会の開催>

平成16年5月26日／6月30日／9月28日／10月26日／11月30日
日／平成17年2月3日／平成17年3月7日

3. 研究調査活動

1) センター共同研究プロジェクト

「東アジアにおける植民地的近代とモダンガール」研究

〔研究内容〕

- ① 1920年代、30年代のモダンガール現象に関する文献の収集、聞き取り調査を行った。
- ② Moga 研究会を開催した。

5月15日(土) 香川檀(武蔵大学)「ワイマール・ドイツの〈新しい女〉とその身体—ハンナ・ヘーヒのフォトモンタージュをとおして」、青木敦子(ブラウン大学大学院)「在朝日本人女性のアイデンティティの創出—雑誌『新女性』を中心に」の報告。

2005年3月13日(日) 小檜山ルイ(東京女子大学)「西洋とアジアの狭間で—Colonial / Imperial Subjectsとしての日本—」、佐藤バーバラ(成蹊大学)「ワークショップ後の研究の方向性について」、館かおる(お茶の水女子大学)「日本人女性にとっての「植民地的近代」の視座をさがして—2005年2月大連への短期調査から—」の報告。

- ③ 2004年9月22日—25日に国際ワークショップ「アジアのモダンガールと〈世界〉(Modern Girl, Asia and Beyond)」を開催した。詳細はプロジェクト概要(p.2～3)を参照。

「女性のメンタルヘルスの支援システム・環境の見直しと構築の研究」

〔研究担当〕

河野貴代美（ジェンダー研究センター教授）
竹村 和子（ジェンダー研究センター研究員・本学人間文化研究科教授）
川喜田好恵（ジェンダー研究センター研究協力員・大阪府立女性総合センターコーディネーター）
小柳 茂子（ジェンダー研究センター研究協力員・相模女子大学助教授）
遠藤みち恵（ジェンダー研究センター研究協力員・フェミニストセラピー「なかま」カウンセラー）
大野 曜（国立女性教育会館理事長）
桜井 陽子（横浜女性フォーラム館長）
榎原佐和子（フェミニストカウンセリング東京）
井上 直美（本学生活科学部生）

〔研究内容〕

- ① 北海道、関東、東海、四国、九州、沖縄にて女性のメンタルヘルスに関わる施設や相談現場の聞き取り調査を実施した。
- ② 女性センター、民間開業ルーム、女性相談所、NPO 法人への質問紙調査を実施した。
- ③ 月一回程度、メンタルヘルス研究会を開催した。
- ④ 研究成果を書籍の形にまとめた。『女性のメンタルヘルスの地平—新たな支援システムとジェンダー心理学』として2005年6月に出版
- ⑤ 公開講演会を行った。
1月25日(土)「女性のメンタルヘルスの地平—新たな支援システムとジェンダー心理学」

「国際移動とジェンダー」に関する研究

〔研究担当〕

伊藤 るり（ジェンダー研究センター教授）
足立真理子（ジェンダー研究センター研究協力員・大阪女子大学教授）
稲葉奈々子（ジェンダー研究センター研究協力員・茨城大学助教授）
酒井 順子（ジェンダー研究センター研究協力員・エセックス大学研究員）
徐 阿貴（本学人間文化研究科博士後期課程）
柳 蓮淑（本学人間文化研究科博士後期課程）

ブレンダ・テネグラ（本学人間文化研究科博士後期課程）

〔研究内容〕

- ① 「国際移民とジェンダー (IMAGE)」研究会を開催した。
 - 2004年5月22日 「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」研究会
熊谷圭知（事業推進担当者）、平野恵子（学術振興会特別研究員）インドネシアにおける女性労働者の国内・海外移動に関する調査報告
足立真理子、伊藤るり、稲葉奈々子、小ヶ谷千穂、ブレンダ・テネグラ、越智方美「フィリピンにおけるケア労働者海外派遣の政策と実態に関する調査報告」
 - 2004年7月17日 「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」研究会
金静寅（同胞法律・生活センター）「相談業務にみる在日コリアン女性の問題」
徐阿貴（本学大学院博士後期課程、COE 研究員）「公共空間とジェンダー—在日コリアン1世女性の夜間中学運動の事例から—」
 - 2004年11月27日 「アジアにおける国際移動とジェンダー配置」研究会
Rhacel Parreñas (University of California, Davis), “Caring for the Filipino Family: How Gender Differentiates the Economic Causes of Labor Migration”
- ② 海外でのインタビュー調査実施。

「ジェンダーで読む健康／セクシュアリティ」研究

〔研究担当〕

ジェンダーと健康 (GHS) 研究会メンバー
根村 直美（ジェンダー研究センター研究協力員・日本大学助教授）
柘植あづみ（ジェンダー研究センター客員教授・明治学院大学教授）
田澤 薫（ジェンダー研究センター研究協力員・尚絅学院大学女子短期大学部助教授）
中山まき子（ジェンダー研究センター研究協力員・鳴門教育大学助教授）
朝倉 京子（ジェンダー研究センター研究協力員・新潟県立看護大学助教授）
浮ヶ谷幸代（ジェンダー研究センター研究協力員・千葉大学非常勤講師）
川添 裕子（ジェンダー研究センター研究協力員・千葉大学

看護学部 COE 研究員)

村田 陽平 (ジェンダー研究センター研究協力員・京都大学
大学院博士後期課程)

齊藤 正美 (本学 COE 研究員・富山大学非常勤講師)

佐藤(佐久間)りか(ジェンダー研究センター研究協力員・本学
COE 研究協力者)

原 ひろ子 (ジェンダー研究センター非常勤講師・放送大学
教授)

東 優子 (ノートルダム清心女子大学助教授)

兵藤 智佳 (国連人口開発研究員・早稲田大学アジア太平洋
研究センター客員研究員)

菅野 摂子 (立教大学大学院博士課程)

澤田 佳世 (日本学術振興会特別研究員)

田口 亜紗 (成城大学大学院博士課程)

田中 俊之 (武蔵大学大学院博士課程)

藤掛 洋子 (東京家政学院大学大学院助教授)

藤田 智子 (本学大学院人間文化研究科博士後期課程)

[研究内容]

① 「健康・セクシュアリティとジェンダー」(GHS) 研究会
の開催 (於: 附属図書館第二会議室)

4月25日(日) 藤田智子(お茶の水女子大学大学院博士課程)
による「青年期の身体像の認知についての考察」の報告、
兵藤智佳(国連人口基金研究員、早稲田大学現代日本研
究所客員研究員)による「リプロダクティブヘルス・ラ
イツに関するバックラッシュとトランスナショナルな
NGO による対抗戦略」の報告。

5月15日(土) 田中俊之(武蔵大学社会学部非常勤講師)に
よる「〈男らしさ〉と生活空間—私的領域に『男性』の居
場所はあるのか」の報告と根村直美(日本大学助教授)
による「倫理学におけるジェンダー・パースペクティブ
—ケアの倫理学と性別秩序改編の倫理学—」の報告。

6月27日(日) 単行本『健康とジェンダー—III』掲載論文検討
会(その1)。

7月17日(土) 単行本『健康とジェンダー—III』掲載論文検討
会(その2)。

9月11日(土) 単行本『健康とジェンダー—III』編集会議
(10~1月は単行本の入稿・校正のため研究会はお休み)
平成17年

2月26日(土) 菅野摂子(立教大学大学院博士課程)による
「『妊娠する身体』の自律性と拡張性」の報告と佐藤(佐
久間)りか(ジェンダー研究センター研究協力員)によ

る「視覚障害とセクシュアリティ~盲学校における性教
育の実態から~」の報告。

② 単行本『健康とジェンダー—III: ジェンダーと交差する健
康/身体』(明石書店)の刊行(平成17年2月)

③ 12月11日若手研究者ポスター・セッション「グローバル
化、暴力、ジェンダー」(於: 生協食堂)

発表者: 佐藤(佐久間)りか(ジェンダー研究センター研究
協力員)『『視覚障害とセクシュアリティ』書誌解題~暗眼
社会の相対化に向けて』

[生命倫理とジェンダー]に関する研究

[研究担当]

柘植あづみ(ジェンダー研究センター客員教授・明治学院大
学教授)

武藤 香織(ジェンダー研究センター非常勤講師・信州大学
医学部専任講師)

仙波由加里(ジェンダー研究センター研究協力員・本学 COE
「ジェンダー研究のフロンティア」研究員(2003-04)・神
奈川県衛生看護専門学校非常勤講師)

[研究内容]

近年、医療関連の研究開発が活発に進められるようになり、
生殖補助技術や再生医療、オーダーメイド医療などへの期待
が高まりつつある。その一方で、ヒト胚の扱いや出生前診断、
生殖補助医療のあり方、医療情報におけるプライバシーの保
護など、倫理的・社会的な視点からの議論も盛んに行われる
ようになってきている。こうした医療技術の開発や生物医学
の実施は、特に産む性である女性の身体や心理への影響や負
担を与える場合が多く、研究開発の倫理的な検討を行う際
にも、ジェンダーの視点を取り入れていくことが重要となる。
そこで、本プロジェクトでは、さまざまな生物医学研究や生
殖医療について、女性の思いや意見、またリプロダクティブ
ライツの概念に注目しながら、近年盛んに議論されている生
命倫理の問題をジェンダーという視点から分析する。

2004年度は、本学 COE「ジェンダー研究のフロンティア」
のプロジェクト C と連携して、ヒト・ゲノムや遺伝子解析な
どの先端医療に見るジェンダーに関する研究会を開催してき
た。また、メンバーがそれぞれ科学研究費補助金等の助成を
受けたプロジェクトに加わり、「出生前検査と妊娠経験に関す
る調査」、「提供精子を用いた人工授精に関する調査」、「不妊
治療費の公的補助に関する調査」、「遺伝子検査と遺伝子バン
ク」などについての研究成果を出し、それに関してについて情

報や意見交換、研究交流を実践してきた。

「映像表現とジェンダー」に関する研究

〔研究担当〕

小林富久子（ジェンダー研究センター客員教授・早稲田大学教授）

館 かおる（ジェンダー研究センター教授）

磯山久美子（本学人間文化研究科博士後期課程）

フェミニズムと現代思想「映像表現とジェンダー」研究会メンバー

〔研究内容〕

フェミニズムと現代思想「映像表現とジェンダー」研究会を開催。

5月28日(金) 伏水修監督『支那の夜』ビデオ鑑賞。吉岡愛子（上智大学非常勤講師）による「李香蘭—魅惑の他者と日本人観客」の報告。於：附属図書館第二会議室（13：00～17：00）

「大学におけるセクシュアルハラスメント」に関する研究

〔研究担当〕

戒能 民江（本学人間文化研究科ジェンダー学際研究専攻教授）

大理奈穂子（本学人間文化研究科博士後期課程）

田宮 遊子（本学人間文化研究科博士後期課程）

中島 ゆり（本学人間文化研究科博士後期課程）

上田 智子（横浜国立大学非常勤講師）

辻 智子（早稲田大学非常勤講師）

〔研究内容〕

① 21世紀COEプログラム「ジェンダー研究のフロンティア」のプロジェクトA-1に、セクシュアルハラスメント／アカデミックハラスメント研究班として組みこまれた。

② キャンパス・セクシュアルハラスメントに関する欧米の文献を収集、分析した。

③ 本学セクシュアル・ハラスメント等 인권委員会 のワーキング・グループに参加し、セクシュアル・ハラスメント等 人权侵害実態調査の調査設計をした。

「ジェンダー研究情報の提供システムの研究」

〔研究担当〕

増永 良文（ジェンダー研究センター研究員・本学理学部教授）

館 かおる（ジェンダー研究センター教授）

小山 直子（ジェンダー研究センター研究協力員・本学 COE

「ジェンダー研究のフロンティア」客員研究員）

原田 雅史（ジェンダー研究センター研究支援推進員）

〔研究内容〕

国内外のジェンダー研究文献のデータベースを検討対象とし、ジェンダー研究文献のカテゴリー化に関する研究を行うとともに、データベース作成のためのシステムの研究を行った。増永良文（本学理学部教授）の「Web コミュニティの動的分析手法を用いたジェンダー研究ポータルサイトの構築」研究と連携して研究を進めた。

2) 外国人客員教授関連プロジェクト

「国民国家・文化・ジェンダーの関連とトランスカルチュラルな意識の生成」

〔研究担当〕

ミチコ・マエ（ジェンダー研究センター外国人客員教授・デュッセルドルフ大学教授）

館 かおる（ジェンダー研究センター教授）

杉橋やよい（ジェンダー研究センター専任講師）

秋林こずえ（ジェンダー研究センター研究機関研究員）

長谷川和美（ジェンダー研究センター事務局員）

〔研究内容〕

① ミチコ・マエ教授が平成16年5月20日に公開セミナー「VINGSの挑戦—大学におけるトランスカルチュラルリティとジェンダー研究の試み」を行った。参加者25名。

② ミチコ・マエ教授が年報8号に「VINGSの挑戦—大学におけるトランスカルチュラルリティとジェンダー研究の試み—Gender Issues from an Outsider Psychologist's Perspective」を執筆した。

「ジェンダーの社会構築：フェミニズムの視点による実証心理学」

〔研究担当〕

ローダ・ケスラー・アンガー（ジェンダー研究センター外国人客員教授・ブランダイス大学女性学研究センター専任研究員）

河野貴代美（ジェンダー研究センター教授）

竹村 和子（ジェンダー研究センター研究員）

青木紀久代（本学）

信田さよ子（原宿カウンセリングセンター）

原田 雅史 (ジェンダー研究センター研究支援推進員)

長谷川和美 (ジェンダー研究センター事務局員)

〔研究内容〕

ローダ・ケスラー・アンガー教授が2004年6月30日、7月7日、14日、21日の全4回にわたり、夜間セミナー「ジェンダーの社会構築—フェミニズムの視点による実証心理学—」を行った。夜間セミナーでは、ジェンダーが社会的にいかに関与されているか、そのメカニズムをフェミニスト心理学者による実証的研究を通して探策した。参加者のべ379名。

「1920年代、30年代における朝鮮人女性の (コロニアル) モダンという経験」

〔研究担当〕

金 恩實 (ジェンダー研究センター外国人客員教授・梨花女子大学校女性学部准教授/同大学アジア女性学センター長)

伊藤 るり (ジェンダー研究センター教授)

小檜山ルイ (ジェンダー研究センター客員研究員・東京女子大学教授)

秋林こずえ (ジェンダー研究センター研究機関研究員)

長谷川和美 (ジェンダー研究センター事務局員)

〔研究内容〕

金恩實教授が2004年11月4日、11日、18日、24日、12月2日の全5回にわたり、夜間セミナー「韓国フェミニズムの理論化に向けて—ナショナリズム、近代、そしてグローバル化との関連を問う—」を行った。参加者のべ306名。

韓国のフェミニズム研究および運動の諸問題は、近代韓国の国民国家成立過程において、近代化とナショナリズム、さらに20世紀後半のグローバル化言説との絶え間ない競合、妥協、そしてラディカルな批判にさらされ、その中で形成されてきた。夜間セミナーでは、韓国で10年間にわたって女性学を教え、研究してきた金氏自身の経験に基づき、現在の韓国フェミニズムの政治における主体形成の問題、フェミニズムの〈知〉の批判力と可能性、さらには、新しい社会変革を主導する文化的、政治的エネルギーとしてのフェミニズムの政治について述べた。

3) センター個人研究

「視覚文化/身体/ジェンダー」

〔研究担当〕

長妻由里子 (ジェンダー研究センター研究協力員・高知女子

大学専任講師)

〔研究内容〕

本研究では、とくに写真による視覚表象を考察し、その身体認識へ及ぼす影響を明らかにした。また現代のみならず、写真発明当時へと遡及的に考察することで、時代のイデオロギーとジェンダーとの関わりを分析した。

「女性と選挙に関する研究」

〔研究担当〕

大海 篤子 (ジェンダー研究センター研究協力員・立教大学非常勤講師)

〔研究内容〕

日本では女性と政治のかかわりについての研究がようやく始まったところである。本研究プロジェクトでは、これまでの女性の選挙に関する資料をまとめた。

「オーラルヒストリー研究法によるジェンダー・移民・グローバル化研究：英国在住日本人男女のライフ・ストーリーを例として」

〔研究担当〕

酒井 順子 (ジェンダー研究センター研究協力員・立教大学非常勤講師他)

〔研究内容〕

日本から海外に向けて女性の個人移民は絶えず活発であった。英国日系コミュニティの発展も女性現地雇用採用者の力に頼る部分が大きかったのである。しかし、ヨーロッパに渡った個人移民である女性達の主観的世界とアイデンティティはこれまでまったく研究対象とはならなかった。

研究担当者がこれまで収集してきた英国在住の日本人ライフ・ストーリーは、時代と共に移動の名目や手段とパターンが変わってきたことを示している。又、ライフ・ストーリーには、移動におけるジェンダー関係、グローバル経済の動向が現れている。ライフ・ストーリーを用いたオーラルヒストリー研究は、個人の主観、体験、そして経済、文化の大きな動きの関連を示唆している。本研究は、ライフ・ストーリーに現れた個人的ナラティブの分析を通して、ジェンダー、移民、グローバル化について考察した。さらに、オーラルヒストリーがジェンダー研究に果たしてきた貢献について広く文献調査を行った。

「暴力防止のための政策とジェンダー—ジェンダー化過程の考察」

〔研究担当〕

マリレーヌ・リーベル（ジェンダー研究センター研究協力員・
Université de Versailles-Saint-Quentin-en-Yvelines）

〔研究内容〕

本研究は、フランスにおけるジェンダーと暴力防止のための政策についてである。この2つの分野の研究を関連付け、ジェンダー視点から「セキュリティ」の意味を検討した。

〔研究担当〕

杉橋やよい（ジェンダー研究センター専任講師）

〔研究内容〕

日本の性別賃金格差は、正規労働者間で約6割、パートを含めると約半分にしか過ぎない。欧米諸国のそれが7～9割台であるのに比べると、日本の性別賃金格差は先進諸国の中で格段に大きい。さらに、男女雇用機会均等法や育児休業法が施行されて約20年近くになるというにもかかわらず、なかなか縮小されていない。

本研究の課題は、主に3つある。①性別賃金格差と差別の理論に対する評価・批判をサーベイした上で、特に先進諸国で広がりつつある非正規的雇用形態をふくむ現実に照らして社会・経済理論の説明力を検討する。②雇用形態、性別の日本の所得／賃金格差・差別を、賃金分布を含む記述統計と計量経済学的手法を用いて分析する。③日本の分析で使った手法を用いて、イギリスなどその他のマイクロデータが使える諸外国についてそれぞれ分析し、国際比較を行う。本年度は、このうち②を行った（一部は、神戸大学・金子治平助教および京都大学大学院・山下遊歩氏と共同研究）。

4) 21世紀 COE プログラム

「ジェンダー研究のフロンティア—〈女〉〈家族〉〈地域〉〈国家〉のグローバルな再構築—」

〔研究担当〕 ◎はリーダー

●プロジェクトA

◎戒能 民江（本学人間文化研究科人間発達科学専攻教授）
伊藤 るり（ジェンダー研究センター・人間文化研究科人間発達科学専攻教授）

熊谷 圭知（人間文化研究科人間発達科学専攻助教授）

足立真理子（人間文化研究科人間発達科学専攻非常勤講

師・大阪女子大学教授）

●プロジェクトB

御船美智子（人間文化研究科人間発達科学専攻教授）

永瀬 伸子（人間文化研究科人間発達科学専攻助教授）

水野 勲（人間文化研究科人間発達科学専攻助教授）

◎篠塚 英子（人間文化研究科人間発達科学専攻教授）

●プロジェクトC

◎館 かおる（ジェンダー研究センター・人間文化研究科人間発達科学専攻教授）

原 ひろ子（ジェンダー研究センター非常勤講師・放送大学大学院総合文化プログラム文化情報科学群教授）

武藤 香織（ジェンダー研究センター非常勤講師・信州大学医学部専任講師）

波平恵美子（人間文化研究科比較社会文化学専攻教授）

●プロジェクトD

◎竹村 和子（ジェンダー研究センター研究員・人間文化研究科比較社会文化学専攻教授）

天野 知香（人間文化研究科比較社会文化学専攻助教授）

石塚 道子（人間文化研究科比較社会文化学専攻教授）

菅 聡子（人間文化研究科国際日本学専攻助教授）

●間プロジェクト研究事業

A「政策と公正」、B「少子化とエコノミー」、C「身体と医療・科学・技術」、D「理論構築と文化表象」の4プロジェクト編成で研究を進め、〈女〉〈家族〉〈地域〉〈国家〉のグローバルな再構築を行い、より高次の「人間開発」をめざす。また、プロジェクト別の研究のほかに、間プロジェクト研究事業として、(1)ジェンダー平等指標を検討する大規模パネル調査、(2)近代社会のジェンダー／セクシュアリティに関する文化表象のデータベース作成、(3)連携型研究「アジア認識とジェンダー」を進め、プロジェクトを超えた研究の統合を図る。さらに、プロジェクトへの積極的な参画体制および研究支援体制を整備して、次世代のジェンダー研究教育、男女共同参画社会の担い手の育成を進めている。

・ジェンダー平等指標のパネル調査

◎御船美智子

◎永瀬 伸子

篠塚 英子、水野 勲

・近代社会のジェンダー／セクシュアリティに関する文化表象のデータベース作成

◎竹村和子

天野 知香、石塚 道子、菅 聡子

・連携研究 アジア認識とジェンダー

◎館 かおる

5. 研究交流・社会連携活動

平成16年4月より平成17年3月の間の活動は次の通りである。

- 1) 公開講演会・シンポジウム
- ① IGS と文教育学部人間社会科学学科共催
「フランスにおける女性の再就職とその支援」(2004(平成16)年5月10日)
- ② IGS・女性のメンタルヘルス研究会主催、国立女性教育会館後援公開シンポジウム「女性のメンタルヘルスの地平—新たな支援システムとジェンダー心理学—」の講演会(2005年1月25日)
- ③ IGS 主催シンポジウム
「日韓女性人権シンポジウム—女性への暴力(DV・性売買)—」(2004年6月4・5日)
- ④ 「東アジアの植民地的近代とモダンガール」研究会、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター共催、ワシントン大学「世界のモダンガール研究会」協力
「アジアのモダンガールと〈世界〉—グローバル資本・植民地的近代・メディア表象—」(2004年9月25日)

2) 研究委員会

平成16年5月14日(金) 各プロジェクトの計画・進捗状況報告
平成16年3月15日(月)
各プロジェクトの進捗状況報告、次年度の体制について話し合い

3) セミナー・ワークショップ

- ① ローダ・ケスラー・アンガー (IGS 外国人客員教授・ブランダイス大学女性学研究センター専任研究員)
夜間セミナーを2004年6月30日、7月7日、14日、21日に開催。
- ② 金 恩實 (IGS 外国人客員教授・梨花女子大学女性学部准教授/同大学アジア女性学センター長)
夜間セミナーを11月4日、11日、18日、24日、12月2日に開催。
- ③ ミチコ・マエ (IGS 外国人客員教授・デュッセルドルフ大学教授)
公開セミナーを5月20日に開催。

4) 関連研究会

- ① 「映像表現とジェンダー」研究会
【研究統括】小林富久子 (IGS 研究協力員・早稲田大学教授)、館かおる (IGS 教授)
- ② 「国際移動とジェンダー (IMAGE)」研究会
【研究統括】伊藤るり (IGS 教授)、村上 薫 (IGS 客員助教授・アジア経済研究所地域研究センター研究員)

6. 教育研修活動

1) 研究生・研修員

- ① 研究生
アンジェリーナ・チン (カリフォルニア大学サンタクルス校博士学位取得候補者)「中国人移民の歴史についての研究」(平成16年4月1日～平成17年3月31日)
青木千都子「開発と女性についての研究」
(平成16年4月1日～平成17年3月31日)
- ② 研修生
私学研修員 泉 洋子 (恵泉女学園高等学校教諭)
澤田佳世 (学術振興会特別研究員)

2) 学部出講・大学院担当

館かおる

コア・クラスター「ジェンダー」コース：知の生成論(後期)
人間文化研究科博士前期課程 発達社会科学専攻
生活開発科学系 開発・ジェンダー論コース：
ジェンダー基礎論(前期)
ジェンダー基礎論演習(後期)
開発ジェンダー論特論(前期)
人間文化研究科博士後期課程 人間発達学専攻
ジェンダー論講座：
ジェンダー史論演習(1)(通年)
ジェンダー史論演習(2)(通年)

伊藤 るり

コア・クラスター「ジェンダー」コース：グローバル化論(前期)
人間文化研究科博士前期課程 発達社会科学専攻
生活科学系 開発・ジェンダー論コース：
国際移動ジェンダー論(前期)
国際移動ジェンダー論演習(後期)
開発ジェンダー論特論(前期)
国際協力論演習(後期)
人間文化研究科博士後期課程 人間発達学専攻
ジェンダー論講座：

国際女性開発論演習(1) (前期)

国際女性開発論演習(2) (後期)

河野貴代美

コア・クラスター「コミュニティ・ボランティア」コース：

女性の活動とカウンセリング (後期)

基礎講義：女性問題 (前期)

生活科学部共通科目：ジェンダー論 (前期)

人間文化研究科博士前期課程 発達社会科学専攻

発達人間科学系 社会臨床論コース：

臨床カウンセリング論演習 (後期)

人間文化研究科博士前期課程 ライフサイエンス専攻

生命科学系 遺伝カウンセリングコース：

カウンセリング実習 (通年)

7. 社会的貢献

ジェンダー研究センター

- ・諸外国／国内の女性関係行政部門、民間団体(NGOの女性問題担当者等)、研究者等の視察受け入れ、日本の男女共同参画等現状等について解説

館 かおる

〈他大学出講〉

- ・埼玉大学教育学部非常勤講師 総合学習研究「女性の生き方と教育」

〈委員〉

- ・ゆがわら男女共同参画懇話会委員
(平成15年10月1日～平成17年9月31日)
- ・農林水産省専門技術員資格試験審査委員
(平成15年4月1日～平成17年3月31日)
- ・(財)人権教育啓発推進センター平成16年度人権啓発資料審査会(法務省委託) 審査員
- ・日本学術会議社会学研究連絡委員会委員
(平成15年10月16日～平成18年10月15日)
- ・日本女性学会幹事(平成14年6月～平成16年6月)
- ・独立行政法人国立女性教育会館運営委員
(平成16年9月1日～平成17年7月31日)

伊藤 るり

〈講師〉

- ① 平成16年11月6日 財団法人アジア助成交流・研究フォーラム「第15回アジア女性会議—北九州」のパネリストとして講演

- ② 平成16年11月26日 国立民族学博物館地域研究企画交流センター主催 国際シンポジウム「移動から空間をとらえる」でシンポジストとして講演 於：一橋大学

〈他大学出講〉

- ・北海道大学文学部「比較地域社会学」
(集中講義 平成16年10月1日～平成17年3月31日)

〈委員〉

- ・国立女性教育会館研究紀要紀要協力委員(平成7年度～)
- ・男女共同参画会議 苦情処理・監視専門調査会委員
- ・外務省独立行政法人評価委員会委員
(平成15年9月1日～平成17年8月31日)
- ・かながわ国際政策推進懇話会専門委員(平成12年度～)
- ・*Indian Journal of Gender Studies* (Sage Publications, New Delhi, Thousand Oaks, London) 編集顧問
- ・*Estudios de Asia y Africa* (メキシコ大学院大学アジア・アフリカ研究センター紀要) 国際編集委員会委員
- ・三井情報開発「ODA政策におけるジェンダー主流化に向けた基礎調査懇話会」委員(平成16年12月～平成17年2月)
- ・神奈川県民部 かながわ国際政策推進懇話会委員
(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

河野貴代美

〈講師〉

- ① 平成16年7月6日(火) 長野県男女共同参画センター相談員研修講義「フェミニストカウンセリングを学ぶ」
- ② 平成17年1月26日(水) 国立女性教育会館平成16年度「女性関連施設相談担当者実務研修」講義「女性関連施設における相談事業の在り方」
- ③ 3月9日(水) 文京区女性団体連絡会 講義「ジェンダーのイロハ」

〈委員〉

- ・「DV被害者支援活動促進のための基金」運営委員
(平成14年12月1日～平成17年3月31日)
- ・日本フェミニストカウンセリング学会 代表理事
- ・東京大学ハラスメント防止委員会委員
(平成16年5月1日～平成18年3月31日)

杉橋やよい

〈講師〉

- ① 5月28日(金) 総務省統計研修所16年度専科「統計企画・分析課程」特別講義「ジェンダー統計」
- ② 6月25日(金) 東京都労働相談情報センター 平成16年度

東京都「男女雇用平等推進月間」に伴う労働セミナー 講義「テーマでみる日本の女性と男性労働」

- ③ 11月19日(金) 独立行政法人国際協力機構 国際協力総合研修所 講義「ジェンダー統計論」
- ④ 12月10日(金) 総務省統計研修所 講義「社会分析(ジェンダー統計)」
- ⑤ 12月2日(木) 独立行政法人国際協力機構 講義「ジェンダー統計」
- ⑥ 17年1月18日(火)、2月1日(火)、2月7日(月)、2月17日(木) 独立行政法人国際協力機構 平成16年度ジェンダー政策立案支援計画(国別研修) 講義「カンボジア・ジェンダー統計の分析」
- ⑦ 17年2月23日(木) 国立女性教育会館 平成16年度 女性の教育推進セミナー 講義「お茶の水女子大学ジェンダー研究センターの歩み」、「ジェンダー統計—教育統計」

<他大学出講>

- ・立教大学経済学部 統計学(経営・会計)

通年 平成16年4月～17年3月

<委員>

- ・独立行政法人国立女性教育会館 客員研究員 女性と男性に関する統計の調査研究
- ・平成16年11月25日～平成17年5月27日 川崎市男女平等推進審議会委員

ミチコ・マエ

<講師>

平成16年6月10日 ドイツ・日本研究所・広島大学共催国際シンポジウム「ジェンダーと国民国家—日本についての歴史的考察—」においてパネル講演。

金 恩 實

平成16年8月27—28日 国立女性教育会館 平成16年度「男女共同参画のための女性学・ジェンダー研究・交流フォーラム」ワークショップに参加。

8. 文献・資料収集／情報提供／閲覧活動

1) 収集資料点数

平成16年4月から平成17年3月までに収集した資料は和漢書単行本63冊(うち科学研究費分63冊)、洋書単行本29冊(うち科学研究費分27冊)、その他雑誌など多数。

2) 主要収集資料

国際移動とジェンダーに関する文献・資料／ジェンダーとセクシュアリティに関する文献・資料／開発とジェンダー教育に関する文献・資料／女性と自然科学者に関する文献・資料／リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する文献・資料／アジアの女性政策と開発に関する文献・資料／東アジアの女性政策に関する資料／「東アジアにおける植民地的近代とモダンガール」に関する研究資料など

3) 資料提供

- ・独立行政法人産業技術総合研究所に宮川寿美の情報を提供。
- ・明治神宮文化館宝物展示室の展示に写真提供。

4) リファレンスサービス資料及び情報の提供・閲覧・貸出・常設展示

- ・コピーサービス：常時附属図書館情報サービス・情報システム係で担当
- ・ホームページ(和文・英文)の更新実施
- ・図書以外に関する情報提供
- ・ニュースレター「IGS通信」発行

5) 図書・資料寄贈(敬称略)

掲載は、和書：寄贈者名『書名』(著者名)、洋書：寄贈者名 書名(イタリック)(著者名)の順とした。

青木書店『中国女性の100年』(中国女性史研究会)、昭和女子大学女性文化研究所『ペーベルの女性論再考』(昭和女子大学女性文化研究所)、きしわだ女性史の会『戦時下のきしわだの女たち』(きしわだ女性史の会)、八千代市企画財務部男女共同参画センター『聞き書き 八千代の女たち』(八千代市女性研修センター八千代の女たち編集委員会)、村上絢子『証言ハンセン病—もう、うつむかない』(村上絢子)、薄井篤子『宗教とジェンダー』(伊藤公雄他)、伊藤るり『AERA MOOK 新版 社会学がわかる』(朝日新聞社)、河野貴代美『カウンセリングとジェンダー』(ルシア A. ギルバート)、河野貴代美『フェミニストカウンセリング パートII』(河野貴代美)、河野貴代美『岩波応用倫理学講義 5 性／愛』(越智貢他編)、明石書店『イスラームとジェンダー』(ゾーバー・ミール＝ホセイニー)、小川久『その光を燃やしつづけて』(斎藤正子先生遺稿集刊行委員会)、聖心女子大学ジェンダー教育研究会『大学におけるジェンダー教育の可能性』(聖心女子大学ジェンダー教育研究会)、中澤智恵『理科教育・学習におけるジェンダー・バイアス』(1)～(3)(村松泰子他)、川嶋瑤子『ジェン』

ダーと家族介護』(クレア・アンガーソン)、川嶋瑤子『理論社会学の現在』(嘉目勝彦他編)、川嶋瑤子『生活者の経済』(御船美智子)、川嶋瑤子『女性技術者・就労環境とライフスタイル調査報告書』(日本女性技術者フォーラム調査部会)、川嶋瑤子『女性技術者の育成活用に関する調査報告書』(日本女性技術者フォーラム調査部会)、川嶋瑤子『要介護認定を受けた在宅高齢者の介護環境に関する実態調査報告書(調査編)』(長寿開発センター)、川嶋瑤子『要介護認定を受けた在宅高齢者の介護環境に関する実態調査報告書(考察編)』(長寿開発センター)、川嶋瑤子『性の自己決定能力を育てるカウンセリング』(高村寿子編)、川嶋瑤子『生活戦略としての語り』(桜井厚)、中村芳子『ミミズに魅せられて半世紀』(中村芳子)、東京女子大学女性学研究所『親子関係のゆくえ』(有賀美和子他)、国立女性教育会館『キャリア形成に生涯学習をいかした女性たち』(国立女性教育会館)、館かおる『日本 NGO レポート2004』(日本女性監視機構)、藪田貫『明治前期日本女性史とアメリカ』(藪田貫)、Tani Barlow *The Question of Women in Chinese Feminism* (Tani Barlow)、風野寿美子 *The Role of Women in Singapore* (Sumiko Kazeno)、天理おやさと研究所 *Women and Religion* (天理おやさと研究所)、酒井順子 *The Clash of Economic Cultures* (Junko Sakai)

6) 来館・閲覧者

学生、研究生、大学院生	8名
大学院以上の研究者	17名
その他	7名